

今後の行事予定

10月		11月	
5日(月)	秋の音楽会(2B)	9日(月)	焼き芋(通園)
7日(水)	秋のお楽しみ会(2C)	12日(木)	お楽しみ会(3D)
18日(日)	運動会(通園)	13日(金)	お楽しみ会(2A)
28日(水)	お楽しみ会(3C)	18日(水)	幻のオリンピック(1B)
※新型コロナウイルス感染症の影響により 変更となる可能性があります。		18日(水)	お楽しみ会(3A)
		20日(金)	お楽しみ会(3B)
		25日(水)	お楽しみ会(3C)
		25日(水)	秋の企画(生活療育支援科)
		26日(木)	お楽しみ会(2C)



2A 秋の運動会

保育士 大塚好雄

9月18日(金曜日)、2A病棟では秋の運動会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンスを保つなどの工夫を行った上での開催となりました。

運動会では、利用者の皆さんは3つの種目に挑みました。まずは紙テープを交差してお互いに引き合う「紙相撲」と、かわいい動物のキャラクターをまとわせたプラスチックボールをひしゃくですくう「玉すくい」、そして、紐の先に景品のスナック菓子やカルピス、靴下などを結び付け、たくさんの紐の中から好きな紐を選んで景品を当てる「千本引き」です。



利用者の皆さんが自分のペースで果敢に挑戦していると、その雄姿に職員の声援が飛び交い、利用者の皆さんからは笑顔や元気な声生まれ、運動会は大いに盛り上がりました。初秋のさわやかな風がさっと顔に吹き付け、奮闘した利用者の皆さんを称えているような運動会でした。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



〒183-8553
 東京都府中市武蔵台2-9-2
 東京都立府中療育センター
 電話 042(323)5115
 FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

府中療育センター新聞

第62回 日本小児神経学会学術集会に参加して

医局 大吉由希美

今年の日本小児神経学会学術集会は、当初、5月末に新潟県の朱鷺メッセで開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、開催が8月に延期され、会場も千葉県幕張メッセに変更となるアナウンスがありました。しかし、その後も感染拡大の収束の目途がたたず、緊急事態宣言の発出など昨年までは予想もしなかった事態が重なったことで、会場での開催が中止となり、8月18日(火曜日)から20日(木曜日)の間にライブ配信と、9月1日(火曜日)から30日(水曜日)までの間に録画映像のインターネット配信を行うという、62回の学術集会の中で初めてのweb開催となりました。

今回の学術集会のテーマは「理(ことわり)を知り病(やまい)を癒す」でした。近年の研究の進歩により、多くの小児神経疾患で原因遺伝子の発見や病態生理の解明が進み、その原因に基づく治療がなされるようになってきました。以前は難病と言われていた神経疾患でも、治療が可能なものが少しずつ増えてきており、本学会ではそうした最新の研究に関する多くの講演やシンポジウムがインターネット上で開催され、最先端の知見を得ることができました。この学術集会では小児科の田沼部長がセミナーの座長として参加したほか、私も演題発表を行いました。

私の発表では、ダノン病という、特異的な症状に乏しいため診断が困難な一方で、重篤な心筋症を発症する予後不良な希少疾患の2小児例を提示しました。この病気は早期診断が予後の改善に重要であり、特に幼少期において心筋の異常よりも先に心電図の異常が認められていたことが、診断の手がかりになるのではないかと訴えました。

発表は当初、会場での口演を予定していましたが、今回は残念ながらインターネット上でスライドを提示するのみとなり、会場で参加者と直接議論することはできませんでした。しかし、会場で発表を行う場合は自分の発表時間と重なった他の先生方の発表は見る事が出来ませんが、今回はインターネット配信のため自分の都合の良い時間にじっくり講演を聴くことができたり、ライブ配信ではチャットで直接質問ができたり、発表資料のPDFを後から見る事ができたりするため、web開催のメリットも大いにあるのではないかと感じています。さらに、移動や宿泊の必要がなく時間の節約にもなるため、これまで仕事や家庭の都合で参加できなかった方も学会に参加しやすくなったのではないかと思います。

来年の学術集会は福岡での開催が予定されていますが、これを機にぜひweb開催も継続して行ってほしいと思います。

第12回 府中療育センター祭について

生活療育支援科 石田泰美

府中療育センター祭の季節がやってまいりました。移転後、初めてのセンター祭、新しい建物のお披露目も含め、盛大に行いたいところでしたが、新型コロナウイルス感染症の流行があり、イベント日は、感染予防対策を行った上での開催となります。検討した結果、入所と通所の御家族、地域の方やボランティアの方の参加は控え、入所、通所、移転で新たに加わった通園の利用者の方のみで実施することになりました。そのような状況の中で、府中市内の2つの障害者施設から出店の御協力をいただけることになりました。

イベントは、10月23日(金曜日)と24日(土曜日)です。3密を避けるため、入所、通所、通園の各部門は、参加する時間を分け、更に入所部門は、フロアごとの参加とします。毎年楽しみにしている舞台発表は、事前録画をして、多目的ホールの大画面で、当日上映する予定です。外部出演団体は、3密を避ける対策を取りながら、23日(金)は通所、通園の方を対象に「絵本コンサート」24日(土)は、入所の方を対象に「打楽器パフォーマンス」、「府中けやきの森学園和太鼓部(VTR)」を行います。外部団体の出店と食べ物コーナーは、テイクアウトのみとし、食べ物コーナーはデリバリー対応も取り入れます。ゲームコーナーは、会場実施の他、会場に来られない利用者の方にも楽しんでいただけるよう、全病棟への訪問を行います。センター祭に先立ち、今年の全体制作「Go To フェス！」は、9月24日(木)から始まりました。

感染予防対策徹底のため、小規模での開催となりますが、職員一同、利用者と共に力を合わせ、いつもと違うセンター祭を楽しんで過ごせるよう、工夫して準備をしております。センター祭の開催後も御報告いたしますので、どうかお楽しみに！



セクション紹介【栄養科】

栄養科長 本荘谷利子

この頃、栄養科の人見ないなー、と思っていませんか。栄養科は、新センター地下1階にもぐり、正に縁の下の力持ちとなって安全・安心で喜ばれる食事提供に励んでいます。

広々としたスペースをいただき、衛生管理の整った調理室となりました。旧センターでは1室で調理の全工程を行っていたのですが、野菜仕込み、肉魚処理、器具洗浄、食器洗浄と汚染区域は各々の部屋に分かれ、調理や盛付・セットを行う衛生区域とは完全に区切られています。空調も整い、また、冷蔵・冷凍室スペースも食品別に区分できるよう十分な広さです。病棟の皆様には配膳車が軽くて扱いやすくなりましたでしょうか。



新たな取り組みとして多摩療育園から移転した通園食の調理が始まりました。旧センターで培った形態食の技術を生かして、発達段階に合わせ訓練にも役立つ食事作りに日々努力しています。加えて、昼食と夕食の盛付・配膳が委託化されました。栄養科職員(管理栄養士5名、調理師15名、非常勤含む)と受託職員(富士産業さん)がパートナーシップを築き、食事の質向上に努めて参ります。

セクション紹介【外来】

看護師長 足立信子

6月から旧多摩療育園と旧府中療育センターの外来部門が一つになりました。中でも歯科は医師が常勤となり、歯科衛生士も5名に増えました。診療日も月曜日から金曜日までと拡大しました。今まで以上に利用者の皆様の口腔状態を改善し、日常生活の質の向上につなげていけるよう、頑張りたいと考えています。



また、陰圧の診察室もできて、発熱など感染症を疑う症例はこの部屋で対応できるようになりました。一般の方とは入り口も分けて対応ができます。

今はコロナの予防のために待合室に絵本やおもちゃを置くことができませんが、壁の装飾などで子供たちを緊張させない環境作りを考えて取り組んでいます。ぜひ、外来診察室のトイレを見に来てください。

新しい施設で気持ちも新たに利用者の方の皆様に寄り添っていきたく思います。